

Flash Eyes

観戦ガイド1月21日号

天皇杯・皇后杯
平成30年度
全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)
丸善インテックアリーナ大阪
(大阪中央体育館)
平成31年1月14日(月)
～1月20日(日)

全日本 前人未到

1月20日の平成30年度全日本卓球選手権大会最終日は、あいにくの雨模様ながら早朝から5,000人を超える観客が集まり、多くの卓球ファンが見守る中、男女シングルス準決勝・決勝が行われた。男子シングルス決勝は、準決勝で張本智和をゲームオールの末に破り昨年のリベンジを果たした大島祐哉と、史上最多10度目の優勝を狙う水谷隼のダブルスパートナー対決となり、巧みなサーブレシーブでラリーを有利に進めた水谷がV10の金字塔を打ち立てた。女子シングルスは、前回王者で今大会すでに2冠の伊藤美誠が、史上最年少優勝に挑戦した木原美悠を実力差で押しきり、女子史上初の2年連続3冠を達成した。前人未到の大記録が生まれた平成最後の全日本、来年も新たな記録が生まれるのか。

水谷隼選手
(史上最多10度目の優勝)

今回V10を達成できたら、この全日本選手権を今年で最後にしたいなと思っていました。ここで勝って、この舞台を去りたいという気持ちが強くて、節目の10回ということで、来年は出場しないと思います。

去年張本に負けてから、今年絶対優勝するぞと思って一年間練習してきたので、自分が優勝できた実感がない。今までも苦しい全日本で、今年も苦しかった。1回優勝するのもしんどいのによく10回優勝したな、と思います。

2年前に9回目の優勝で最多記録を更新してから全日本に気持ちがいかず、この全日本が始まる前から10回優勝したら満足だと思っていました。V10を達成できたので、引き際としてはいいんじゃないかと思います。



水谷 隼 V10

水谷 隼 木下グループ・東京	4(11-13, 11-6, 11-7, 11-6, 9-11, 11-5)2	大島祐哉 木下グループ・東京
-------------------	---	-------------------

伊藤美誠選手 (女子史上初の2年連続3冠)

3冠を達成できてすごく嬉しいです。最後にシングルスで優勝できてホッとしました。混合ダブルスと女子ダブルスを優勝してから、3冠、3冠という言葉が言われてきましたが、プレッシャーを感じるよりも、もうちょっとで3冠か、という感じでした。

決勝は楽しかったです。今の自分の年齢だと決勝で年下の選手と対戦するのは少ないので、女子のレベル層は厚いなと改めて思いました。年下には負けたくなかったし、優勝を取れたくないという強い気持ちはありました。目の前のポイントをどうやって取るかを考えて勝てたのでよかったです。去年3冠をとれたおかげで自分に自信があったので、自分の実力を出せば絶対大丈夫と信じてやってきてよかったです。楽しんだ方が勝てると思っているので、自分のプレーをして楽しもうと思っていたら3冠を取れました。



伊藤 美誠 3冠

伊藤美誠 スターツSC・大阪	4(13-11, 11-9, 11-6, 9-11, 11-5)1	木原美悠 JCCリートアカデミー・東京
-------------------	-----------------------------------	------------------------